

連載 それぞれのアスベスト禍 その47

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 古川和子

国と大企業の謝罪

私は国（厚生労働大臣）と大企業（株）クボタ）の最高責任者が、深々と頭を下げ、謝罪する場面にそれぞれ遭遇することが出来た。

2005年6月末にクボタ旧神崎工場周辺住民3人が中皮腫を発症し、クボタが「周辺住民の患者に200万円のお見舞い金を支払う」とニュースが全国に流れて「クボタショック」が起こった。クボタショック以後は続々と相談の電話が入り、その数は100名近くまで増えた。奈良県立医大の車谷典男教授と産業医科大学の熊谷信二准教授（当時大阪府立公衆衛生研究所勤務）が疫学調査を開始し、クボタ旧神崎工場からのアスベスト飛散により多くの人々が中皮腫を発症したことが判明した。その後、私達はクボタとの交渉を試みたがその度に、尼崎労働安全衛生センター飯田浩事務局長は「謝罪の無いお金は受け取れない」と主張し、社長直接の謝罪を要求してきた。

「私達患者に謝ってください！」と担当部長達に泣きながら訴える女性の悲痛な叫び。「入院中だが、ガウンを来て抜け出してきた」と点滴の跡を見せる男性。鬼気迫る交渉の末に、やっと社長直々の謝罪が実現したのは2005年12月25日だった。当事者と関係者約100名近くが集まった

尼崎支部集会に参加した社長は、「ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした」と真摯に謝罪を行い、それまでの「お見舞い金」から一步前に踏み出す決意を表明した。そして翌年の2006年4月17日には「クボタ救済金」として工場周辺被害者へのお見舞い金制度の設立を発表した。もちろん、この制度は中皮腫患者とその家族、支援者を交えての数回に亘る交渉を経て決定したものだった。

クボタの社長が謝罪した時は、私は社長の横に座していた。一言一句の言葉にも深い思いを込めながらの謝罪だ。横から覗えたその姿は、既に故人となられた方に対しての深い哀悼の意であった。会場からの質問に「工場の中と外は区別しません」と見舞い金からの前進を約束した

奇しくもその8年後の2013年12月25日、泉南アスベスト国賠第2陣訴訟は大阪高裁判決で大きな転機を迎えることになった。その前に第1陣訴訟は、2006年5月24日に大阪地裁に提訴し2010年5月19日に勝訴判決が言い渡された。しかし2011年8月25日の大阪高裁の判決では原告逆転敗訴となった。世にいう「命より産業の発展を重視した魔の判決」だ。しかし2012年3月28日に第2陣訴訟において大阪地裁は再度国の責任を認定する判決を言い渡した。



謝罪を述べる塩崎大臣（左）

そして2013年12月25日に大阪高裁は第1陣判決を覆すような形で国の責任を認定する判決を言い渡した。原告や弁護団、支援者達もこの高裁判決に寄せた期待は大きかったので、第1陣高裁判決を巻き返せると確信した瞬間だった。そして第1陣、第2陣共に最高裁で一括審理となった。

最高裁の弁論は2014年9月4日に開催され、10月9日の判決では第2陣訴訟の勝利判決と、第1陣訴訟の大阪高裁差し戻しが言い渡された。そして12月26日には第1陣訴訟の和解期日が行われ、決着をみた。

最高裁判決の後で既に第2陣原告達に謝罪している塩崎厚生労働大臣は、第1陣原告と先の謝罪で体調不良の為に状況出来なかった原告達の元を訪問した。

迎よく、私は2015年1月18日に泉南で行われる大臣謝罪の会場に同席させて貰

えることになった。原告の後ろに控えて、緊張しながら塩崎厚生労働大臣の謝罪をみていた。原告の方達からは長年に亘る闘いの歴史が切々と語られ、決してこれで全て解決したわけではない事を伝えていた。そのひとつには、近隣ばく露や家族ばく露といった非労働者の被害については敗訴したこともあった。

この時の原告の皆さんの姿を拝見し、8年半の闘いの凄まじさが改めて見えてきた。当初は自身の名前さえも十分に伝えられなかった「普通の人」が、一国の大臣を前にして堂々と意見を述べているのだ。その姿に「よく頑張ったね!」という想いが込み上げてきた。同時に私の脳裏には2005年12月25日のクボタ社長謝罪の光景が蘇って来た。困難な問題でも、ひとり一人の固い決意と勇気が有ればきっと歴史を変えることが出来るのだ、そう確信できた一日だった。それとともに、被害者達を支えて闘ってきた弁護団と支援者の方々に敬意を表したい。

大企業であるクボタの社長、そして厚生労働大臣の謝罪と、アスベスト被害の歴史の大きな局面を2度も見てきた私はあともう一人、「アスベスト公害」を認めた環境大臣の謝罪も実現させたいと思った。

★オススメ!! 労災職業病チャンネル★

NPO 法人神奈川労災職業病センターがYouTubeに「労災職業病チャンネル」を開設しました。派遣法、職場のいじめ嫌がらせ、過労死、被ばく労働... 専門家による様々な講演などを発信しています。是非ご覧ください!

◆ 働く人の安全と健康を考える労災職業病チャンネル ◆

<https://www.youtube.com/channel/UCI8fo24lfO85u3MamCVB7yQ>